

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
国語	現代の国語	国際交流科	1	2	現代の国語 （大修館）	現代の国語 学習ノート （大修館）
科目の目標		(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者に関わろうとする態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
1 明日をひらく ・伝える・伝え合う	- 言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。 - 相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。
2 要点をつかむ ・文章の要点をつかむ	- 叙述を的確にとらえ、文章の要点をつかむ。 - 具体と抽象の関係を理解する。
3 的確に伝える ・伝わるように話す ・わかりやすく書く	- 目的や場面に応じて的確にわかりやすく伝える。 - 話し言葉、書き言葉の違いを意識する。
4 意見を示す ・発想を広げる ・意見を書く	- 自分の考えを整理したり広げたりする。 - 根拠を明確にして、自分の意見を示す。
5 論理をとらえる ・「動的平衡としての生物多様性」	主張と根拠、推論の仕方に着目して文章の論理をとらえる。
6 魅力的に伝える ・工夫して話す	相手が魅力を感じるように、表現を工夫する。
7 資料を駆使する ・「『安くておいしい国』の限界」 ・統計資料をもとに意見を書く	- 統計資料を正確に読み取る。 - 統計資料を組み合わせたり、比較したりして、それを根拠に自分の主張を行う。
8 他者と交流する ・状況に応じた通信文を書く	相手を意識した効果的な表現や手段を考える。
9 情報を比較する ・「『美しさの発見』について」	複数の文章や資料を比較し、考えを深める。
10 他者を動かす ・説得力のある資料をつくる ・資料を用いて発表する	- 提案に説得力をもたせるため、必要な要素を押さえる。 - 資料を活用した効果的な構成を工夫する。
11 主張を吟味する ・「贅沢を取り戻す」 ・文章を読み取って主張を書く ・討論をする	- 他者の主張の妥当性や信頼性を吟味する。 - 他者の主張をふまえて、自分の考えを示す。
12 考えを発信する ・レポートを書く	目的に沿って主体的に情報を集めたり、それを発信したりする。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・振り返りシート・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
国語	言語文化	国際交流科	1	3	言語文化 (大修館)	言語文化 学習ノート (大修館)
科目の目標		(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
1 言語文化への視点 「世界を見わたす窓」	・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。 ・日本語にあらわれている文化について推測する。
2 古文に親しむ 「児のそら寝」	・古文の文体や仮名遣いに慣れる。 ・話の内容を理解し、物語の面白さを味わう。
3 言語の紡ぐ世界 「羅生門」	・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 ・『今昔物語集』と読み比べ、作者のねらいについて考える。
4 漢文に親しむ 「私たちと漢文」 「論語」	・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむ。 ・『論語』について書かれた文章を読み、『論語』についての理解を深める。
5 自然へのまなざし 「をりふしの移り変はるこそ」	・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。
6 伝統と発展 「実態の美と状況の美」	・美についての筆者の考えを読み取る。 ・日本と西欧の美意識の差異を捉える。
7 現代に生きる言葉 「蛇足」 「完璧」	・音読して漢文訓読のリズムに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・故事成語の意味や日本への影響を理解する。
8 人との交わり 伊勢物語「芥川」	・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・和歌の修辞技法と、その効果を理解する。
9 表現の多様性 「夢十夜」 「良識派」	・作品の表現に着目しながら読む。 ・作品が暗示しているものについて理解を深める。
10 想いを表す言葉 和歌・短歌・俳句	・和歌の印象的な部分について考える。 ・作品にうたわれている情景や心情を読み味わう。
11 語り継がれる歴史 平家物語「木曾の最期」	・登場人物の会話や行動を整理し、どのように描かれているかを読み取る。 ・『平家物語』に特徴的な文体のリズムを味わう。
12 日本と世界 「サーカス」 漢詩	・詩の表現の特徴と内容を読み取る。 ・翻訳の工夫を理解する。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・振り返りシート・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
地歴公民	歴史総合	国際交流科	1	2	明解歴史総合 (帝国書院)	明解歴史総合図説シンフォニア最新版(帝国書院) 明解歴史総合ノート(帝国書院)
科目の目標		社会的事象の歴史的な見方や考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

単元と学習内容	学習の目標・ねらい
1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	- 身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解できる。 - 身の回りの事象と世界の歴史の結び付きについて考察し、表現できる。 - 絵画や文書資料、統計データなどを事実と解釈とを区別して読み解くことの重要性や、歴史叙述の特性について理解できる。
2部 近代化と私たち 序章 近代化への問い 1章 江戸時代の日本と結びつく世界 2章 欧米諸国における近代化 3章 近代化の進展と国民国家形成 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 5章 近代化が進む日本と東アジア	18世紀のアジア各地域間の貿易やアジア諸国と欧米諸国の貿易が日本に与えた影響について、資料を読み取り理解できる。 - 中学校までの学習で得た知識を総合して、資料の地図データを読み解きながら、近代化以前の日本と、アジア、ヨーロッパの結びつきが考察できる。 - 市民革命により近代市民社会の基礎が築かれ、産業革命によって確立した資本主義による欧米社会の変化および国際分業体制の形成を理解できる。 1848年を境とする国民国家の形成過程を理解することができる。 - 第2次産業革命を経た欧米諸国の帝国主義政策が、どのように世界を変えたのか考察できる。 「西洋の衝撃」に対して、日本を含めたアジア諸国がどのように対応したのかに着目することで、欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について考察できる。 - 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、現代社会に与えた影響と課題について考察できる。
3部 国際秩序の変化や大衆化とわたしたち 序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第1次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会への広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	- 人々の生活や社会のあり方が、国際秩序の変化や大衆化にともない変化したことについて考察できる。 - 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会変化について考察できる。 - 均衡勢力に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追求できる。 - 第1次世界大戦後、国際協調のためのしくみが形成されたこと、総力戦により大衆が一層台頭するようになり、大衆社会が成立したこと、アメリカを中心に大衆文化が育まれて世界に影響を与えていったことについて理解できる。 - ファシズム体制の形成から第2次世界大戦の終戦に至るまで、大衆とメディアとの関わりに着目しながら、大衆の戦争協力が現代社会に与えた影響と課題について考察できる。 - 新しい国際秩序である国際連合と現実のアジア・ヨーロッパの冷戦構造のなかから戦後日本の政治の大衆化について理解できる。
4部 グローバル化と私たち 序章 グローバル化への問い 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界 3章 グローバル化のなかの世界と日本	- 人々の生活や社会のあり方がグローバル化にともない変化したことについて考察できる。 - 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、現代社会に与えた影響と課題について理解できる。 - 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について、資料を読み取り理解できる。 - 冷戦の終結とグローバル化の進展が、世界情勢にどのような影響を与えたのか、さらに私たちの生活がどのように変わったかについて考察できる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・課題・ノート点検
思考・判断・表現	定期考査・課題・ノート点検
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・追究活動・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
数学	数学Ⅰ	国際交流科	1	3	最新 数学Ⅰ （数研出版）	3 ROUND 数学Ⅰ＋A（数研出版） チャート式基礎と演習 数学Ⅰ＋A （数研出版）
科目の目標		数と式、図形と軽量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

学習内容	学習の目標・ねらい
第1章 数と式 第1節 数と式	式を目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、適切に変形したりする力を培う。
第2節 実数	中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができる。
第3節 1次不等式	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。
第2章 集合と命題	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用することができる。
第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現する有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用することができる。
第2節 2次方程式と2次不等式	2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。
第4章 図形と計量 第1節 三角比	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、三角比を活用して問題を解決する力を培う。
第2節 正弦定理・余弦定理	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力などを培う。
第5章 データの分析	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・レポート課題など
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・振り返りシート・レポート課題・提出課題など

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
理科	科学と人間生活	国際交流科	1	2	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）	新課程版 ネオパルノート 科学と人間生活（第一学習社）
科目の目標		・科学技術の発展に基づき、自然界におけるさまざまな事物・事象に対する理解を深める。 ・科学技術がどのように生活に関わり、役立てられているかを具体例にふれながら学習し、科学への興味・関心を持つ。				

単元と教材（内容）	学習の目標・ねらい
序章 科学技術の発展 ・情報伝達技術の発展 ・エネルギー資源の活用と交通手段の発展 ・医療技術の発展	・科学技術の発展が今日の豊かで便利な生活に貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解する。
第Ⅰ章 物質の化学 第1節 材料とその利用 ・プラスチックの特徴 ・プラスチックの分類と用途 ・さまざまなプラスチック ・金属と人間生活 ・金属とその精錬 ・金属のさびと合金 ・資源の再利用	・プラスチックの原料と特徴について理解し、構成する粒子である原子の構造等について理解する。 ・高吸水性樹脂、導電性樹脂等の新しいプラスチックの性質や用途について理解する。 ・金属の利用の歴史から、金属結合とそれに基づく金属の性質について理解し、製錬方法や、さびの発生と防止方法について理解する。 ・プラスチック、金属、ガラスの再利用方法とその必要性について理解する。
第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 ・たんぱく質のはたらきと構造 ・遺伝子とDNA ・たんぱく質の合成 ・血糖濃度の調整 ・病原体の排除 ・ヒトの視覚	・生物を取り巻く環境要因として光に注目し、植物の開花や動物の繁殖行動に対する光の影響を理解する。 ・植物の光合成と環境要因の関係を理解する。 ・植物の発芽や成長運動、花芽形成や開花に対する光の影響について理解する。 ・ヒトの眼の構造を学習し、視細胞の種類や働きと、明順応や暗順応の現象や錯覚について理解する。 ・光に対する動物の行動について理解し、太陽光がヒトの健康に与える影響について理解する。
第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 ・温度と熱運動 ・熱容量と比熱 ・熱の伝わり方 ・仕事や電流と熱の発生 ・エネルギーの移り変わり ・エネルギー資源の有効活用	・温度と熱運動と、物体の熱容量と比熱について理解し、熱伝導のしくみについて理解する。 ・仕事とエネルギーとの関係、ジュール熱と電力の関係について、式を用いて理解するとともに、熱機関、永久機関の学習を通して、熱はすべて仕事に変えられないことを理解する。 ・省エネルギー・代替エネルギーについて関心を持つ。
第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第2節 太陽と地球 ・太陽と太陽系 ・太陽系を構成する天体 ・太陽と人間生活 ・天体の動き ・太陽と月の動き ・太陽の動きと太陽暦	・月の見え方とひと月、暦の関係を理解する。 ・太陽、地球、月の位置関係と潮位の変動との関係について考え、潮位の変動の周期性について理解する。 ・温室効果ガスと温室効果の仕組みを理解し、地球温暖化について考える。 ・緯度による太陽の熱の入射量の違いと地球の自転によって大気の流れができることを理解し、大気の大循環を理解する。 ・気圧分布や大気の流れと各季節の気象との関係を理解する。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト・ノート点検
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・授業で作成したもの（実験レポートなど）
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・振り返りシート・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
保健体育	体育 (男子)	国際交流科	1	3	現代高等保健体育 (大修館)	ステップアップ 高校スポーツ2025 (大修館)
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

学習内容	学習の目標・ねらい
○体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
○器械運動 ・マット運動 ・鉄棒運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。 ・マット運動では回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
○陸上 ・短距離走、長距離走	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。短距離走では中間走へのつながりを滑らかにして速く走ること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
○球技 ・ゴール型 ・ネット型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。
○武道 ・柔道	・技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができる。 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり抑えたりするなどの攻防ができる。
○体育理論 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができ、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断することとともに、他者に伝えることができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	ゲーム・スキルテスト・レポート
思考・判断・表現	ゲーム・スキルテスト・レポート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
保健体育	体育 (女子)	国際交流科	1	3	現代高等保健体育 (大修館)	ステップアップ 高校スポーツ2025 (大修館)
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

学習内容	学習の目標・ねらい
○体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
○器械運動 ・マット運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。マット運動では回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
○陸上 ・短距離走、長距離走	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。短距離走では中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
○球技 ・ゴール型 ・ネット型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。
○ダンス ・フォークダンス ・現代的なリズムのダンス	・感情を込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。
○体育理論 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができ、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断することともに、他者に伝えることができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	ゲーム・スキルテスト・レポート
思考・判断・表現	ゲーム・スキルテスト・レポート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
保健体育	保健	国際交流科	1	1	現代高等保健体育 （大修館）	現代高等保健体育ノート （大修館）
科目の目標		保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
1 現代社会と健康 - 健康の考え方と成り立ち - 私たちの健康のすがた - 生活習慣病の予防と回復 - がんの原因と予防 - がんの治療と回復 - 運動と健康 - 食事と健康 - 休養・睡眠と健康 - 喫煙と健康 - 飲酒と健康 - 薬物乱用と健康 - 精神疾患の特徴 - 精神疾患の予防 - 精神疾患からの回復 - 現代の感染症 - 感染症の予防 - 性感染症・エイズとその予防 - 健康に関する意思決定・行動選択 - 健康に関する環境づくり	現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて学ぶ - さまざまな健康の考え方について例を挙げて説明できる。 - 健康水準の変化とその背景について説明できる。 - 生活習慣病の種類と要因について説明できる。 - がんの種類や原因について説明できる。 - がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 - 健康と運動の関係について説明できる。 - 食事と健康の関係について説明できる。 - 健康と休養の関係及び適切な休養の取り方を説明できる。 - 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 - 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 - 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響を説明できる。 - 精神疾患の例を挙げ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 - 精神疾患を予防する方法について説明できる。 - 精神疾患の治療について例を挙げて説明できる。 - 感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 - 感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 - 性感染症・エイズが他の感染症と異なる点を説明できる。 - 意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 - 社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。
2 安全な社会生活 - 事故の現状と発生要因 - 安全な社会の形成 - 交通における安全 - 応急手当の意義とその基本 - 日常的な応急手当 - 心肺蘇生法	安全な社会作りについて学ぶ - 事故の実態と被害の実態について説明できる。 - 安全のために必要な個人の行動を例をあげて説明できる。 - 交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 - 応急手当の意義について説明できる。 - 実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 - 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・ノート点検
思考・判断・表現	定期考査・授業での発言
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
芸術	音楽 I	国際交流科	1	2	MOUSA1(教育芸術社)	
科目の目標		音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
歌唱 校歌 翼をください 美女と野獣	- 基本的な発声などの技能を身に付ける。 - 曲種に応じたいろいろな発声の方法について学び、自分なりのイメージを持って表現を工夫して表情豊かに歌う。
リズム演奏 ボディーパーカッション Clap, tap with CUPS!	- リズムの基礎を身に付ける。 - ボディーパーカッションの音色を工夫しながら演奏する。 - 曲想と音色や奏法とのか関わりを理解し、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けるとともに、他者と協働しながらイメージを持って表現を工夫して演奏する。
ミュージカル、オペラ カルメン 美女と野獣	- 音楽の特徴と文化的、歴史的背景、他の芸術との関わり、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けながらイメージを持って表現を工夫して歌う。 - 物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解する。
アンサンブル 星に願いを 荒野の果てに	- トーンチャイム、ミュージックベルに親しむ。 - 表情の特徴を理解し、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けながら、イメージを持って表現を工夫して演奏する。
ソルフェージュ・楽典	楽譜の正しい読み方や書き方を身に付ける。
歌謡曲からJ-POPまでの100年 東京ブギウギ 若者のすべて	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景などとの関わりを理解し、イメージを持って表現を工夫して歌うとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える。
創作 旋律の雰囲気を変化させよう	リズムや拍子、調などを変えることによって、旋律の持っている表情や雰囲気を変化させる技術を身に付け、イメージを持って表現を工夫して創作する。
鑑賞 動物の謝肉祭	音楽を形作っている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、根拠を持って曲や演奏を批評する。

評価の観点	評価方法
知識・技能	実技テスト・小テスト・レポート
思考・判断・表現	授業で発表したもの・レポート・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
芸術	美術 I	国際交流科	1	2	高校生の美術 1 (日本文教出版)	
科目の目標		(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
(鑑賞) 教科書作品の鑑賞	・ 高校美術とは何か理解する。 (絵画、彫刻、デザイン、映像メディアを通して)
(絵画・表現) 鉛筆デッサン 静物画	・ 鉛筆によるデッサンの基礎を学ぶ。 ・ 対象物をよく観る習慣を身に付ける。 ・ 鉛筆デッサンを基本に、油絵の具の使い方や特性を理解し、静物を表現する。
(デザイン・表現) 日本の伝統色 日本の文様	・ 色の三属性を理解する。 ・ 伝統色を理解し、作成する。 ・ 日本の文様を理解し、切り絵で表現する。
(版画・表現) コラグラフ	・ さまざまな種類の版画技法及び制作過程を理解する。 ・ コラグラフの制作過程及び技法を身に付ける。
(絵画・鑑賞) 西洋美術の鑑賞	・ 歴史的背景による表現に関心をもち、西洋の美術文化について理解を深める。
(造形・表現) 陶芸	・ 陶芸作品を通して、暮らしの中で使うデザインを理解し、器を制作する。
(デザイン・表現) キャラクター制作	・ キャラクターの設定理由を考え、イラストで表現する。 ・ ペンを用い、緻密で効果的な表現ができる。
(絵画・表現) 自画像	・ 顔の特徴を捉え、デッサンを正確にすることができる。 ・ 鉛筆の表現技法を理解し、空間や細密描写ができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	作品・ワークシート
思考・判断・表現	アイディアスケッチ・授業時の発言・制作中の作品・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	活動の様子・制作中の作品

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書(発行者)	副教材等
芸術	書道Ⅰ	国際交流科	1	2	書Ⅰ(光村)	
科目の目標		(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

単元と教材(内容)	学習の目標・ねらい
1 書へのいざない ・用具・用材の扱い方・文房四宝 ・姿勢・執筆法	・用具・用材について理解し、姿勢や執筆法・用筆法について知り、書道の学習において基本的な事項を理解する。 ・書写と書道の違いを理解し、今後の学習に意欲的に取り組む心構えを養う。
2 漢字の学習 ・さまざまな楷書(5課題古典臨書) ・倣書(うちわ制作・鑑賞)	・漢字五書体の歴史的な変遷について理解する。 ・楷書の古典の特徴を知り、臨書による表現方法を習得する。 ・楷書の倣書をし、古典の特徴をさらに深め、うちわの制作を通して、表現の構想から完成に至る過程を工夫し、主体的に自己実現を図る。
3 篆書の学習 ・篆刻制作(原稿・彫り・押印)	・篆書体の基本的な筆遣いを知る。 ・篆書を鑑賞することにより、良さや美しさを感じ、自分の制作する印を工夫する。
4 行書の学習 ・さまざまな行書(2課題古典臨書)	・行書の古典の特徴を知り、臨書による表現方法を習得する。
5 隷書の学習	・曹全碑を臨書することにより、臨書の特徴を理解し、用筆・運筆、結構法を習得して表現力を高める。
6 仮名の書の学習 ・仮名の種類 ・基本的な筆遣い ・平仮名、変体仮名の連綿 ・高野切第一種の臨書 ・創作・鑑賞	・仮名の種類について理解する。 ・仮名の基本的な線筆と用筆・運筆との関係性を理解する。 ・仮名の基本的な筆遣いの技能を身に付ける。 ・名筆を通して、日本の伝統的な書の美を感じ取る。 ・表現の構想から完成に至る過程を工夫し、主体的に自己実現を図る。
7 漢字仮名交じりの書の学習 ・漢字仮名交じりの書の創作 ・漢字仮名交じりの書の鑑賞	・漢字と仮名の調和の重要性を確認し、明確な制作意図をもって、主体的・意欲的に表現を行う。 ・文字の大きさ、字形、配置、書体などを工夫し、表現する。 ・制作者の意図をくみ取り、感じたことを言葉で表現する。

評価の観点	評価方法
知識・技能	提出作品・確認プリント(小テスト)・臨書プリント・観察
思考・判断・表現	創作・鑑賞プリント・創作作品・振り返りプリント・観察
主体的に学習に取り組む態度	関心・意欲・態度・提出課題・添削数・配布手本への記入・観察

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
英語	総合英語 I	国際交流科	1	4	Power On English Communication I (東京書籍)	Power On English Communication WORKBOOK
科目の目標		日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取ったり読み取ったりすることで、話し手又は書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して表現することができる。				

学習内容	学習の目標・ねらい
Lesson 1 Japan's New Tourism	・過去と現在の日本の観光の状況について理解し、自分の住んでいる地域の魅力について情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 2 Light from Creatures	・光る生物やその光が医療研究に利用されていることについて理解し、光る生物について情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 3 Routes to the Top	・野口選手や好きなスポーツ選手について理解し、自分や友達の好きなスポーツ選手について情報や自分の考えなどを論理的に伝え合うことができる。
Lesson 4 Left to Right, Right?	・日本や海外のマンガの形式やその翻訳について理解し、マンガやその形式について情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 5 Banana Paper	・バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて理解し、製品や販売促進について、情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 6 Patterns in Human Behavior	・人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について理解し、関連する話題や行動をコントロールする方法について、情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 7 No Plastic or No Future	・プラスチックごみによる海洋汚染について理解し、関連する話題やごみを減らす対策について、情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 8 Oh My Cod!	・食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について理解し、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	・eスポーツの現状、利点や欠点について理解し、eスポーツやeスポーツの利点について情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。
Lesson 10 Being Different Is Beautiful	・写真家ヨシダナギさんの経験、過去と現在について理解し、ヨシダナギさんについて、情報や自分の考えなどを論理的に伝えることができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・授業時の発言や発表の内容・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
家庭	家庭基礎	国際交流科	1	2	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる（第一学習社）	最新 生活ハンドブック
科目の目標		人の一生を生涯発達の視点でとらえ、人の一生と家族・家庭及び、福祉、衣食住、消費生活・環境などに関する知識と技術を習得し、家庭および地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。				

学習内容	学習の目標・ねらい
○ 家庭科の学びについて 家庭科とSDGs 1 これからの生き方と家族 生涯の生活設計 家族・家庭と社会とのかかわり 2 衣生活をつくる 人の一生と被服 被服材料と管理 これからの衣生活 3 ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動 4 食生活をつくる 人の一生と食事 栄養と食品 食生活の安全のために 食生活をデザインする 5 次世代をはぐくむ 子どもの発達 子どもの生活 子育て支援と福祉 6 充実した生涯へ 7 ともに生きる 8 住生活をつくる 人の一生と住まい 住生活の計画と選択 9 経済生活をつくる 私たちの暮らしと経済 消費者問題を考える 持続可能な社会をめざして	・家庭科を学ぶ意義やどのような学習活動をしていくかを知る。 ・SDGsについて家庭的視点から考えることができる。 ・生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージの特徴と課題について考える。 ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服など衣服の機能や役割について理解する。 ・衣服素材の種類や特徴、性能について理解し、適切な衣服管理をすることができる。 ・衣生活と資源・環境とのかかわりを理解し、環境に配慮した衣生活を実践できる。 ・製作を通して、基本的な製作技術を身に付ける。 ・「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解する。 ・「学校家庭クラブ活動」の意義と実施方法について理解する。 ・日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に深く関係する食事について学ぶ意欲を高める。 ・健康な生活を送るうえで必要な栄養素とそのおもな働きについて理解する。 ・食品表示の内容を読み取り、食品を適切に選択できるとともに、食中毒予防ができる。 ・食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得する。 ・身体の発育や運動機能などの発達の概要を理解できるようにする。 ・子どもの成長と遊びの関係性について知る。 ・家庭保育と集団保育の違いを知り、子どもの発達と環境との関わりについて理解できる。 ・高齢期の健康や暮らしの様子を知り、家族や地域の一員として、高齢者や変化する社会とどう向き合っていけば良いかを考えることができる。 ・地域のバリアフリーやユニバーサルデザインなど具体的事例を通して考察する。 ・住まいの機能について理解する。 ・健康・安全・快適な住まい方を身近な題材をもとに考える。 ・家計の構造を理解し、ライフステージごとに必要となる支出について知る。 ・消費者被害の事例を通して、消費者として適切な判断ができるようにする。 ・環境負荷の少ない生活をめざして、生活意識や生活様式を主体的に見直すことができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト・ノート点検・実習作品
思考・判断・表現	定期考査・授業で作成したもの（作品、レポートなど）
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
情報	情報Ⅰ	国際交流科	1	2	高等学校 情報Ⅰ （数研出版）	情報Ⅰ サポートノート （数研出版）
科目の目標		(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
1. 情報社会の問題解決 ・情報とメディア ・情報社会における法とセキュリティ ・情報技術が社会に及ぼす影響	・情報とは何か、情報の信憑性とは何かを理解する。 ・情報に関する法規や制度、個人情報の保護、著作権等の保護の必要性、情報セキュリティを高める技術や対策について理解する。 ・発展する情報技術がもたらす社会・生活の変化、ネットトラブルと情報技術の適切な活用について理解する。
2. コミュニケーションと情報デザイン ・情報のデジタル表現 ・コミュニケーション手段の発展と特徴 ・情報デザイン ・プレゼンテーション	・情報のデジタル化の基礎的な知識と技術と、データ圧縮の原理と具体例について理解する。 ・通信の歴史とコミュニケーション手段の発展について理解する。また、適切なメディアの選択と利用方法を身に付ける。 ・情報デザインの役割を理解させ、効果的な情報デザインを考える。 ・プレゼンテーションの基本や手法を理解し、使い方を理解する。
3. コンピュータとプログラミング ・コンピュータのしくみ ・プログラミング ・モデル化とシミュレーション	・コンピュータのハードウェア・ソフトウェアの基本を理解する。 ・プログラム言語の実行の仕組みやプログラムの基本を理解し、プログラミングでコンピュータを活用する方法を身に付ける。 ・モデル化とシミュレーションの考え方や方法、事象をモデル化して改善する方法について理解し、結果を踏まえた解決方法を考える。
4. 情報通信ネットワークとデータの活動 ・ネットワークのしくみ ・データベース ・データの分析	・情報通信ネットワークの基本的な方法、通信の信頼性を確保するための方法や技術、デジタル化の基礎的な知識と技術について理解する。また、目的や状況に応じたプロトコル等の選択や、セキュリティを確保する方法について考える。 ・データベースの概念や機能、損失を防ぐ仕組みや、データベースが活用されている情報システムの特徴や役割について理解する。 ・データの形式に関する知識と、データを収集・整理・分析する方法について理解し、簡単なデータ処理や分析を行う方法を身に付ける。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	定期考査・授業で作成したもの（プログラム、レポートなど）
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
地歴公民	歴史総合	国際交流科	2	2	明解歴史総合 （帝国書院）	明解歴史総合図説シンフォニア最 新版（帝国書院） 明解歴史総合ノート（帝国書院）
科目の目標		社会的事象の歴史的な見方や考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

単元と学習内容	学習の目標・ねらい
1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	- 身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解できる。 - 身の回りの事象と世界の歴史の結び付きについて考察し、表現できる。 - 絵画や文書資料、統計データなどを事実と解釈とを区別して読み解くことの重要性や、歴史叙述の特性について理解できる。
2部 近代化と私たち 序章 近代化への問い 1章 江戸時代の日本と結びつく世界 2章 欧米諸国における近代化 3章 近代化の進展と国民国家形成 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 5章 近代化が進む日本と東アジア	- 人々の生活や社会のあり方が近代化にともない変化したことについて考察するための問いを表現できる。 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り理解できる。 - 中学校までの学習で得た知識を総合して、資料の地図データを読み解きながら、近代化以前の日本と、アジア、ヨーロッパの結びつきが考察できる。 - 市民革命により近代市民社会の基礎が築かれ、産業革命によって確立した資本主義による欧米社会の変化および国際分業体制の形成を理解できる。 1848年を境とする国民国家の形成過程を理解したうえで、第2次産業革命を経た欧米諸国の帝国主義政策が、どのように世界を変えたのかを追求する手がかりが考察できる。 「西洋の衝撃」に対して、日本を含めたアジア諸国がどのように対応したのかに着目することで、欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について考察できる。 - 明治維新とその後日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、現代社会に与えた影響と課題について理解できる。
3部 国際秩序の変化や大衆化とわたしたち 序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第1次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会への広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	- 人々の生活や社会のあり方が、国際秩序の変化や大衆化にともない変化したことについて考察できる。 - 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会変化について考察できる。 - 均衡勢力に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追求できる。 - 第1次世界大戦後、国際協調のためのしくみが形成されたこと、総力戦により大衆が一層台頭するようになり、大衆社会が成立したこと、アメリカを中心に大衆文化が育まれて世界に影響を与えていったことについて理解できる。 - ファシズム体制の形成から第2次世界大戦の終戦に至るまで、大衆とメディアとの関わりに着目しながら、大衆の戦争協力が現代社会に与えた影響と課題について考察できる。 - 新しい国際秩序である国際連合と現実のアジア・ヨーロッパの冷戦構造のなかから戦後日本の政治の大衆化について理解できる。
4部 グローバル化と私たち 序章 グローバル化への問い 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界 3章 グローバル化のなかの世界と日本	- 人々の生活や社会のあり方がグローバル化にともない変化したことについて考察できる。 - 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、現代社会に与えた影響と課題について理解できる。 - 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について、資料を読み取り理解できる。 - 冷戦の終結とグローバル化の進展が、世界情勢にどのような影響を与えたのか、さらに私たちの生活がどのように変わったのかについて考察できる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・課題・ノート点検
思考・判断・表現	定期考査・課題・ノート点検
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・追究活動・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
地歴公民	地理総合	国際交流科	2	2	高等学校 新地理総合 （帝国書院）	新詳高等地図(帝国書院) 新編地理資料2025(とうほう) 新地理総合ノート(帝国書院)
科目の目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

単元と学習内容	学習の目標・ねらい
第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。
第2章 結び付きを深める現代世界	現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。
第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	- 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 - 自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて考察し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。
第2章 地球的課題と国際協力	- 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 - 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて考察を深める。
第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	- 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 - さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。 - 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 - 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。
第2章 生活圏の調査と地域の展望	- 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 - 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 - 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・課題・ノート点検
思考・判断・表現	定期考査・課題・ノート点検
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・追究活動・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
理科	物理基礎	国際交流科	2	2	高等学校 新物理基礎 （第一学習社）	新課程版 セミナー物理基礎＋物理 （第一学習社）
科目の目標		・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
第Ⅰ章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動	- 物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解する。 - 物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフを用いて考える。 - 実験を通して、物体が落下する際の運動の理解を深め、その特徴を理解する。
第2節 力と運動の法則	- 力の表し方を理解し、力の合成・分解、つりあいについて理解を深める。 - 観察や実験を通して、運動の3法則について理解する。 - 運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。
第3節 仕事と力学的エネルギー	- 物理における仕事について理解する。 - 運動エネルギーと仕事の関係について理解する。 - 位置エネルギーと仕事の関係について理解する。 - 力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し、法則が成り立つ条件とともに理解する。
第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー	- 熱と温度について、熱運動という視点から理解する。 - 熱容量と比熱の違い、熱量の保存について理解する。 - 熱と仕事の変換について理解する。
第Ⅲ章 波動 第1節 波の性質	- 波の基本的な要素について理解する。 - 横波、縦波の特徴や、縦波の横波表示について理解する。 - 観察や実験を通して、重ねあわせの原理と波の独立性について理解する。
第2節 音波	音の三要素、弦の振動、気柱の共鳴及び音波の性質を理解する。
第Ⅳ章 電気 第1節 電荷と電流	- 静電気の現象や帯電のしくみを理解する。 - 電流、電圧、電気抵抗の関係について理解する。 - ジュール熱、電力量、電力について理解する。
第2節 電流と磁場	- 電流がつくる磁場について理解する。 - 交流の性質、変圧器や送電について理解する。
第3節 エネルギーとその利用	- エネルギーの流れや問題点、発電のしくみについて理解する。 - 放射線の種類や性質、原子力発電のしくみについて理解する。
終章 物理学が拓く世界	学習した内容が、日常生活や社会を支えている科学技術と結びついていることを理解する。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・授業で作成したもの（実験レポートなど）
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・振り返りシート・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
理科	化学基礎	国際交流科	2	2	化学基礎（実教出版）	高校化学基礎カラーノート 新課程版 （実教出版）
科目の目標		日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
1 章 物質の構成 1 物質の探求 2 物質の構成粒子	・混合物と純物質の違い、分離精製法を知る。 ・元素の意味と純物質の成り立ちを知る。 ・粒子の熱運動と温度、物質の三態変化との関係を理解する。 ・原子の構造及び陽子・中性子・電子の性質を理解する。 ・元素の周期律及び電子配置の周期表との関係を理解する。
2 章 物質と化学結合 1 イオン結合 2 共有結合と分子間力 3 金属結合 4 化学結合と物質	・イオンの生成の仕組み、イオン結合からなるイオン結晶の性質を理解する。 ・共有結合と分子からなる物質の性質を理解する。 ・金属結合からなる物質の性質を理解する。 ・結晶の種類によって物質の性質が分類できることを理解する。 ・身のまわりの物質がどのような結合でできているか理解する。
3 章 物質の変化 1 物質と化学反応式	・原子量の定義を理解する。 ・分子量・式量の定義を理解する。 ・物質の量を表す単位としてmolを理解し、他の単位への変換の仕方を理解する。 ・質量パーセント濃度とモル濃度の表し方を理解する。 ・化学反応式・イオン反応式を利用して化学反応の量的関係の計算ができることを理解する。
2 酸と塩基	・酸・塩基の定義を理解する。 ・水素イオン濃度とpHの関係、pHと水溶液の酸性度・塩基性度の関係を理解する。 ・中和反応の量的関係や塩の分類などを理解する。
3 酸化還元反応	・酸化還元反応の定義を理解する。 ・酸化数を使って酸化還元反応を理解する。 ・イオン化傾向と反応性の関係を理解する。 ・電池や電気分解について理解する。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・授業で作成したもの（実験レポートなど）
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・振り返りシート・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
理科	生物基礎	国際交流科	2	2	生物基礎(数研出版)	改訂版 リードLightノート生物基礎 (数研出版) 二訂版 ニューステージ'生物図表(浜島)
科目の目標		(1) 日常生活や社会との関連を量りながら、目的意識を持って観察、実験を行い、生物への興味・関心を深める。 (2) 生物学の基本的な概念・原理・法則を理解する。				

単元と教材（内容）	学習の目標・ねらい
第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 実験1. 顕微鏡の使い方 実験2. 細胞の観察 実験3. カタラーゼとそのはたらき	・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解する。 ・生物の共通性と多様性は、生物の進化の結果であることを理解する。 ・生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。 ・呼吸や光合成の過程でATPが合成されていることを理解する。 ・酵素の特徴を理解し、酵素によって生体内で必要な化学反応が進行することを理解する。
第2章 遺伝子とそのはたらき 実験4. 体細胞分裂の観察	・DNAの構造を理解する。 ・遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを理解する。 ・DNAが、半保存的に複製されることを理解する。 ・細胞周期の進行に伴って、DNAが性格に複製され、2つの細胞に分配されることを理解する。 ・タンパク質のアミノ酸配列は、DNAの塩基配列によって決まることを理解する。 ・個体を構成する細胞は遺伝的に同一であるが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。
第2編 ヒトの体内環境の維持	・体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。 ・自律神経系と内分泌系による情報伝達によって、からだの状態の調節が行われることを理解する。 ・ホルモンと自律神経のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。 ・からだに、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解する。 ・免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて理解する。
第3編 生物の多様性と生態系	・植生の成りたちや相観について理解する。 ・植生が時間の経過とともに移り変わっていくことを理解する。 ・世界各地には、多様なバイオームが成立していることを理解する。 ・気候条件によっては、遷移の結果として森林のほかに草原や荒原にもなることを理解する。 ・生態系の成りたちを理解する。 ・生物どうしの関係が種多様性の維持にかかわっていることを理解する。 ・生態系がもつ復元力について理解する。 ・人間活動が生態系に及ぼす影響について理解する。 ・生態系の保全の重要性について理解する。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・小テスト・実験技能
思考・判断・表現	定期考査・授業時の観察・授業で作成したもの（実験レポートなど）
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・課題の提出状況・その他の自主的な取り組み

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
保健体育	体育 (男子)	国際交流科	2	2	現代高等保健体育 (大修館)	ステップアップ 高校スポーツ2024 (大修館)
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

学習内容	学習の目標・ねらい
○体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
○器械運動 ・マット運動 ・鉄棒運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。 ・マット運動では回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
○陸上 ・短距離走、長距離走	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。短距離走では中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
○球技 ・ゴール型 ・ネット型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。
○武道 ・柔道	・技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができる。 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり抑えたりするなどの攻防ができる。
○体育理論 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができ、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断することとともに、他者に伝えることができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	ゲーム・スキルテスト・レポート
思考・判断・表現	ゲーム・スキルテスト・レポート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
保健体育	体育 (女子)	国際交流科	2	2	現代高等保健体育 (大修館)	ステップアップ 高校スポーツ2024 (大修館)
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

学習内容	学習の目標・ねらい
○体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
○器械運動 ・マット運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。マット運動では回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
○陸上 ・短距離走、長距離走	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。短距離走では中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
○球技 ・ゴール型 ・ネット型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。
○ダンス ・フォークダンス ・現代的なリズムのダンス	・感情を込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。
○体育理論 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができ、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断することともに、他者に伝えることができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	ゲーム・スキルテスト・レポート
思考・判断・表現	ゲーム・スキルテスト・レポート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
保健体育	保健	国際交流科	2	1	現代高等保健体育 （大修館）	現代高等保健体育ノート （大修館）
科目の目標		保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				

学習内容	学習の目標・ねらい
3 生涯を通じる健康 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について説明できる。 ・性意識の男女差について説明できる。 ・妊娠、出産の過程における健康課題について説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・加齢にともなう心身の変化について説明できる。 ・働くことの意義と健康のかかわりについて説明できる。 ・労働災害の種類とその原因について説明できる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて説明できる。
4 健康を支える環境づくり ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生に関わる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	・大気汚染の原因と健康への影響について説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・保健行政の役割について説明できる。 ・医療保険のしくみについて説明できる。 ・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・国際機関、民間機関などの保健活動について説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期考査・ノート点検
思考・判断・表現	定期考査・授業での発言
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲・課題の提出状況

富山県立伏木高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	教科書（発行者）	副教材等
保健体育	体育 (男女)	国際交流科	3	3・2	現代高等保健体育 (大修館)	ステップアップ 高校スポーツ2023 (大修館)
科目の目標		各種の運動を通し体力の増強をはかると共に、規則を守り仲間と協力し自己の責任を果たす態度を身に付ける。また生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。				

学習内容	学習の目標・ねらい
○体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
○器械運動 ・マット運動 ・鉄棒運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。 ・マット運動では回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
○陸上 ・短距離走、長距離走	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。短距離走では中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
○球技（選択） ・ゴール型（バスケットボール、サッカー） ・ネット型（バレーボール、バドミントン）など	・ラケットとボールに慣れ、基本動作や基本技術の練習を通して、ラケットのスイングやボールコントロールの技能を習得する。 ・前衛・後衛の基本技術を理解し、基本動作を習得する。 ・バレーボールに必要な個人技術・戦術や体力を把握し、練習計画をたてる。 ・ポジションやフォーメーションなどの作戦を立てて、自分のチームの特徴を生かしてゲームを行う。 ・バドミントンに必要な個人技術・戦術や体力を把握し、練習計画をたてる。 ・戦略や戦術、攻め方などの作戦を立てて、自分及びペアの特徴を生かしてゲームを行う。
○体育理論 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができ、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断することともに、他者に伝えることができる。

評価の観点	評価方法
知識・技能	ゲーム・スキルテスト・レポート
思考・判断・表現	ゲーム・スキルテスト・レポート
主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢や意欲